

科目番号	53001	分類	共通科目	履修者	看護科学コース (看護管理者プログラム)		学年			
科目名	看護理論 ( Nursing Theory )						1			
							配当シスター			
							前期			
担当者	○高橋 智子 他1名			区分	選択	単位	2	時間数	30	
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連				
看護学の発展の中で、看護理論がどのような経緯で開発されてきたかを概観したうえで、主要な看護理論の特徴や限界を検討すると共に、自らの経験と照らして看護の実践・教育・研究における看護理論の適用と課題を考察する。						○	1. 看護管理学の継承・発展を担うために必要な研究能力			
1. 看護学の発展と共に、看護理論がどのような歴史的経緯で開発されたのかを理解する。							○	2. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力		
2. 看護理論を評価する枠組みを理解し、この評価枠組みを用いた分析を通し、主要な看護理論の特徴や限界を検討する。								○	3. 看護管理者として、臨地においてリーダーシップを取りながら、エビデンスに基づく看護マネジメントができる能力	
3. 自らの経験に照らして、それぞれの専門領域の実践・教育における看護理論の適用と課題を考察する。							○		4. ヒト・モノ・カネ・情報等のシステム的管理能力の向上	
								○	5. 病院管理者の一員として管理能力を養い、病院経営に積極的に参加する姿勢	
授 業 計 画										
回	内 容						担当教員			
第1回 第2～5回 第6～10回 第11～15回	ガイダンス 看護理論の発展の歴史 看護理論とは 看護理論の定義、理論の構成要素、理論の範囲 看護理論の分析と評価の理解 主要な看護理論の分析と評価 主要な看護理論の看護実践・教育への理論の適用 主要な看護理論の活用に向けた課題						高橋 他1名			
事前・事後 学習	事前学習：事前配付されたプレゼンテーション資料に目を通し、ディスカッションの準備をする。 事後学習：資料の加筆・修正、ディスカッションのまとめを行う。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと。									
評価の方法	プレゼンテーション40% プレゼンテーションの参加度20% 課題レポート40% フィードバック（意見交換・プレゼンテーションの総評、課題レポートの総評等）は適宜行う。									
参考図書 ・資料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Meleis, AI(2017)/中木高夫監訳(2021). セオレティカル・ナースィング 原著第6版-看護理論の開発と進歩. 看護の科学社</li> <li>• Meleis, AI(2017). Theoretical Nursing: Development and Progress (6<sup>th</sup>Ed). Lippincott Williams &amp; Wilkins.</li> <li>• 筒井真優美編(2020). 看護理論家の成績と理論評価 第2版. 医学書院</li> <li>• Fawcett, J.(1993)/大田喜久子・筒井真優美監訳(2008). フォーセット看護理論の分析と評価 新訂版. 医学書院</li> <li>• Walker, L.O &amp;Avant, K.C.(2018) Strategies for Theory Construction in Nursing(6<sup>th</sup>Ed). Pearson.</li> <li>• Chinn, P.L &amp;Kramer, M.K.(2021) Knowledge Development in Nursing: Theory and Process (11<sup>th</sup>Ed). Elsevier.</li> <li>• その他：看護理論家による著書</li> </ul>									
備 考	本授業はゼミナール形式で行う。 オフィスアワーについては、学生便覧を参照して教員と事前に日程を調整する。 授業方法の詳細については、ガイダンス資料を参照する。									